

機構の30年の取組みが3月、出版されます

集合住宅維持管理機構が30年余りの間に、マンションの管理組合から依頼されて取り組んだマンションの改修事例集が、今年3月出版されます。書名は「大規模改修によるマンションのグレードアップ事例集」で、建築系出版大手の彰国社から出ます。

この企画は7年程前に、機構が取り組んだ3,000余りの工事の中で、素晴らしいマンションの改修工事がいくつもあるが、これらを多くのマンションの人たちに知ってもらうことを考えたらどうか、「こんな改善が出来るのならうちのマンションでもどうか」といった意見が出るのではないかと声があがり、出版に取り組むことになったのです。

内容は、屋根や外壁の改修事例の他、駐車場増設、集会室新設、給排水管改修、耐震改修、手摺りや窓サッシの取替え、底設置、そしてエントランス部分を見違えるようにした事例など、72の改修事例を第1編で紹介しています。

この改修事例集からマンションが長持ちしていくアイデアを得てください。きっと参考になる良い事例が見つかると思います。

マンションドクターニュースの読者ですと、会員割引となりますので、購入申し込みをどうぞ。申込用のチラシをこのニュースに同封しましたのでよろしくお願いします。管理組合での「爆買」大歓迎です。



NPO 法人集合住宅維持管理機構 理事長 梶浦恒男



開催報告

大規模改修工事实践講座（工事見学会）第111回 シャルム甲陽園（11/21）



シャルム甲陽園の皆さんのご協力で工事見学会を開催させていただくのは、1989年の最初の大規模改修工事の時以来、今回で2回目です。建物の調査および設計監理を担当した機構主任専門委員の川口憲一（一級建築士）が、建物の状況と設計内容、そして大規模修繕工事の流れについて説明した後、専門委員の島田俊夫（一級建築士）の引率で、屋上をはじめ実際の工事現場を見学しました。斜面地に建つために建物が複雑な配置になっていることに加え車路を確保するために工夫された足場の様子を、参加者は興味深そうに見学しました。

これまでの管理組合の取組みすべてが順調だったわけではありませんが、様々な経験を乗り越え、「共用部分も含めたすべてが自分の住まいなのだから大事にしたい」という共通した気持ちが竣工後37年の間に居住者に培われたと役員の方はお話ししてくださいました。

マンション管理実践講座



第90回「管理組合運営の基礎講座③駐車場問題を解消する！」（11/28）

世話人の奥田勲夫さんが、関住協会管理組合を対象に独自にとったアンケート調査の結果や、国交省の「機械式立体駐車場の安全対策に関するガイドライン」にある管理組合の「防犯カメラ運用細則」について説明し、「この問題は“これが解決法”といったものはないので、お互いにそれぞれの実状を出し合い交流したい」と述べました。また、「自治体によって住戸数に対する駐車台数を定めているので、各自治体と相談してほしい」とのアドバイスもありました。



マンションドクター®
編集・発行：特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構
〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番27号 アイカビル4階
TEL 06-4708-7790 FAX 06-4708-7791
<http://www.kikou.gr.jp/>



「マンションドクター」は商標法にもとづく登録商標です。